

2024年3月22日

各位

会社名株式会社 コラボス
代表者名 代表取締役社長 茂木 貴雄
(コード: 3908 東証グロース)
問い合わせ先 代表取締役副社長 青本 真人
(TEL. 03-5623-3473)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期会計期間（2023年4月1日～2024年3月31日）において、特別損失（減損損失）を計上するとともに、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月10日に公表いたしました2024年3月期通期業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、これらの決定を踏まえ経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、設立以来、コールセンター向けクラウドサービス事業として、コールセンター運営において必須の基本機能であるIP電話交換機システムや顧客情報管理（CRM）システムを中心に事業を展開してまいりました。一方、昨今のコールセンターシステムは、コミュニケーションチャネルの多様化やAI技術を利用したVOC分析及びマーケティング施策への活用等の市場環境の変化により、その役割は大きく変化しております。これらの環境変化や、それに伴う顧客ニーズの変化にも対応するため、当社は、新たなサービスへの開発投資とサービスラインナップの拡充を計画的に進め、2024年3月期を初年度とする中期経営計画においては、この成長投資を収益へつなげる販売拡大のフェーズへと移行しております。

このような背景の下、サービスごとに独立した体制、機能、キャッシュ・フローを備え、意思決定をより迅速化し、責任を明確化することで、拡充するサービスラインナップに対応するため、外部専門家等とも協議を重ねた結果、これまで単一としていた固定資産のグルーピングを、@nyplace 関連サービス、ソフトフォン関連サービス、マーケティング及び業務効率化関連サービス、の3つへ変更することといたしました。

この変更に伴い、改めて「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を資産グループごとに検討した結果、当初想定した期間での回収が困難であると判断したことから、ソフトウェアの減損損失として約500百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,450	△183	△187	△188	△39.24
今回実績(B)	2,150	△300	△280	△820	△182.64
増減額(B-A)	△300	△117	△93	△632	
増減率(%)	△12.2	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	2,349	101	100	67	14.88

(2) 修正の理由

2024年3月期通期業績予想につきましては、主に@nyplaceにおける大型案件の減席等に伴う月額利用料の減少、また、VLOOM及びGROWCE等の新サービスにおいては、更なる顧客ニーズ充足のための追加機能開発を優先したことにより、サービスリリースが計画より遅延したことで、新規獲得見込み案件の機会損失や受注時期の後ろ倒しが発生したこと等が大きく影響し、売上高、営業利益、経常利益は、前回発表予想を下回る見込みとなります。

また、当期純利益につきましては、上記の影響に加え、「1.特別損失(減損損失)の計上について」に記載いたしましたとおり、減損損失約500百万円の計上を予定しており、前回発表予想を大幅に下回る見込みであります。

※上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

3. 役員報酬の減額について

当社は、上記の特別損失(減損損失)の計上及び業績予想の修正内容を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬を減額することを決定いたしました。

(1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の30%を減額
代表取締役副社長	月額報酬の20%を減額
取締役	月額報酬の10%を減額

(2) 対象期間

2024年4月~2025年3月(12カ月間)

以上